

中小野中新聞

7年生だより

10月3日(火)、わくわくオーケストラ教室を含む校外学習に出かけました。午前中は、甲子園球場や甲子園歴史館を訪れ、スタッフの方のお話を聞きながら球場内外

を見学しました。昔は甲子園大運動場と呼ばれ、プールや体育館があったこと、野球だけでなく様々なスポーツがおこなわれていたことなど、これまで知らなかった甲子園の100年の歴史を感じる



ことができました。また、みんなで歌った全力校歌は、球場全体に響き渡り、心に残るものになりました。午後からは兵庫県立芸術文化センターにおいて実施された「わくわくオーケストラ教室」に参加しました。音響設備や照明など充実した素晴らしいホールで、映像でしか見たことのないオーケストラによる力強い演奏を体感することができ、今まで味わったことのない感動やたくさんの新しい発見をすることができました。



12月には合唱コンクールが予定されていますが、インフルエンザ等の感染症拡大のため、1月12日に再



延期となりました。この合唱コンクールに向けて7月に選曲し、10月から本格的に音楽の授業で歌ってきました。ATでも指揮者・伴奏者文化部を中心に、それぞれのクラスで歌を作り上げています。3学期早々の行事となりますが、様々な困難を乗り越えて作り上げた「自分たちの歌」をよい形で披露できるように頑張りましょう。

いよいよ冬休みに入ります。学習においても、部活動においても、生活においても、よい締めくくりをし、「先輩となる準備」を整えていきましょう。そして二〇二四年が素晴らしい一年になるよう、3学期も目標を持って過ごしていきましょう。

8年生だより

2学期の様々な行事をクラスで知恵を出し合い、力を合わせて団結し、乗り越えていくことで大きく成長することができました。また、12月には生徒会本部役員選挙が行われ、いよいよ8年生が小野中学校を引っ張っていく立場に立ちました。これからは自分たちが先頭に立ち、小野中学校を作っていくきます。先輩の残してくれた伝統を大切に、この学年が新しい風を吹かせ、小野中学校を作っていくのです。小野中学校がどのようなのかとても楽しみです。



さて、年が変わると3学期になります。よく、8年生3学期は9年生0学期と言われます。4月からは9年生になり、受験生になります。4月からいきなり自分を変えることはできません。この8年生3学期のうちに【心の準備】をし、行動を変えていかないといけません。2学期の学年MTで『真剣だと知恵が出る 中途半端だと愚痴が出る いい加減だと言いつばかり』という武田信玄の名言を生徒たちに伝えましたが、4月からは自分の力で進路を切り開かないといけません。新年のスタートがよいものになるように、気持ちを新たに3学期頑張りましょう。



生徒会選挙 (リモート)



道徳授業参観

9年生だより

2学期は体育祭・人権フェスティバル・合唱コンクールの練習などがありました。9年生としてこれまでに以上に役割の大切さや責任感を感じながら取り組む成長した姿が各クラスにありました。さらに、オープンハイスクールや月に一度の確認テスト、定期テストを通して卒業後の進路に向けて真剣に考え、休み時間も勉強する姿も多く見られるようになりました。

三者懇談を終え、目標となる進路も決定しました。冬休みは入試までまとまった時間がとれる最

人権旬間 10月23日~11月2日

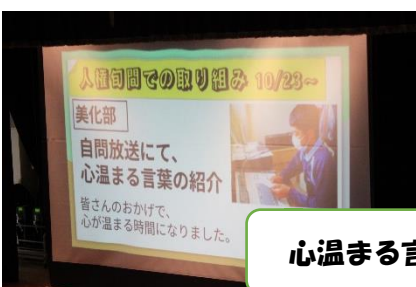
後の機会です。クラスを離れ一人になります。誰もが自分を高めるために努力しています。入試の本番を誰もが自信あふれる姿で迎えられよう。この冬の一人一人の頑張りを楽しんでいます。

人権弁論大会



人権に関する本の紹介
ハートの木を育てよう!

心温まる言葉の紹介



人権クイズ



小野市立小野中学校

校長 駒田 茂



〇2学期を終えて

9月9日(土)の体育祭を皮切りに、新人戦、わくわくオーケストラ、人権フェスティバル、生徒会選挙と行事の多い2学期でしたが、無事に終業式を迎えることができました。なかでも新人戦では、柔道、陸上競技、水泳、男子バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボールが県大会出場を果たすという近年希に見る成果を上げてくれました。生徒のみなさんや顧問の先生方の頑張り、いつも生徒を支えてくださった保護者のみなさまのお力添えに改めて感謝申し上げます。

また、体育祭では9年生が下級生をリードし、お互いを応援し合うことで全校生がひとつになりました。合唱コンクールは3学期に延期されてしまいましたが、みんなで同じ気持ちを持共有して、ひとつのものを表現した体育祭と合唱練習を通してできた「絆」を、3学期さらに深めていって欲しいと思います。

さて、11月にみなさんの生活学習実態調査をしましたが、集計結果を見ると、交通ルールを守っている(97%)、学校生活の決まりを守っている(94%)、学習の決まりを守っている(90%)、熱心に自問ができている(87%)等、落ち着いた学校生活を送ることができています。



その反面、家庭でのスマホ等の使用に関しては、自分のスマホ所持率が上がっており、家庭でのスマホルールを守っている(59%)、守っていない(8%)、家庭でのルールがない(34%)、1日3時間以上ネット利用(23%)という心配な結果が出ています。こ

れまでもスマホの弊害については伝えてきましたが、まずはスマホを持たせてもらっていることに対する最低限の責任として、家庭でのルールを家族とよく相談しながら自分で決めるとともに、以下の川島隆太教授の研究結果を再確認してください。

- ① スマホ使用時間1h未満の子どもの成績が良い。 ※自己管理できるため。
- ② スマホを3時間以上使うといくら勉強時間を増やしても成績は悪い。
- ③ 勉強中は電源OFFにし、目に入らないところへ置く。
- ④ 勉強したことを記憶に定着させるためには、睡眠(7〜8h)の確保が重要。



もう一点、調査結果で気になる点がありました。「正しいあいさつ・言葉遣いができている」という項目に対し、88%の生徒ができていますと回答していますが、みなさんには、社会人になっても通用するあいさつを身につけて欲しいと願っています。

あいさつを辞書で引くと、「相手に敬意・親愛の意を示す行為で、対人関係を円満にし、社会生活を円滑にする。自分から心を開いて相手に迫る行為である。」と書かれています。みなさんの「あいさつ」は言葉の意味通り、相手に敬意・親愛の意を示し、対人関係・社会生活を円滑にするという目的を、ツールとしてきちんと果たしているでしょうか? 「おはようございます」「こんにちは」という言葉を口から発したら、それでできていると思っていないでしょうか? みなさんも5年以内には成人となりますので、一般常識だと思われる「社会人としてのあいさつの仕方」を紹介しましょう。



① 語先後礼(ごせんごれい)
相手に対して向き合ってあいさつの言葉を発してから「会釈(えしやく)」をするという動作です。

② 笑顔であいさつしよう
笑顔は人に良い印象を与え、人の雰囲気や和ませ、プラス思考をもたらすし、物事を成功に導くなど、人間にとって素敵なパワーの源です。

③ おじぎの前後で「相手の目」を見る
目が合わないあいさつは意味がありません。

④ 語尾(ごび)を上げる
調子次第で相手の印象は「明るい」「暗い」が真逆になります。

⑤ 気持ちを含めたあいさつをする
いくら形が整っていても、「相手に敬意・親愛の意を示そう!」という思いが込められていなければ何も伝わりません。

本校生徒の中にも、社会人として通用する素晴らしいあいさつができる生徒がたくさんいますが、目を合わさずに、ただ言葉を発するだけのあいさつになってしまう生徒も見受けられます。

「自分から」「相手の目を見て」「元気よく」「会釈を添えた」気持ちのこもったあいさつができる小野中生であってください。そして、みなさんの元気なあいさつで、地域の方々を笑顔にして欲しいと思います。

最期に、いよいよ明日から冬休みとなります。普段より自由な時間が増えると思いますので、ぜひ「読書の楽しさ」に触れて欲しいと思います。読書をする事で、みなさんが普段の生活では体験できないことを、容易に疑似体験させてくれます。例えば、みなさんが行ったことのない国や地域の本を読むことで、さまざまな国の文化や自然などを知ることができます。そし

て気に入った地域へ旅行したり、留学したりする足がかりとなることもあります。読書によって人生を豊かにできるのは、本がもたらす最大のメリットです。



また、川島隆太教授の研究結果からも、読書が習慣化している人は、読書をしていない人より脳が発達していることが明らかになっており、テストの点数にも差が出ています。9年生にとっては、受験勉強の追い込み期間にはなりますが、読書にはリラック効果もありますので、勉強の休憩にネットを見るのであれば、たとえ15分、30分でも読書をしてみてください。受験や将来に役立つことは間違いありませんので、この冬休みは読書の習慣化を目標に最低一冊は読み切りましょう。それでは3学期の始業式に元気で出会えることを楽しみにしています。よいお年を!!

1・2・3月の行事予定

- 1月 9日 (火) 始業式
- 1月 12日 (金) 合唱コンクール
- 2月 22日 (木) 26日 (月) 27日 (火) 期末テスト
- 3月 13日 (水) 9年生を送る会
- 3月 15日 (金) 卒業式
- 3月 22日 (金) 修了式